



ロータリー財団 The Rotary Foundation

2011 - 2012年度ロータリー財団 未来の夢計画概要説明

国際ロータリー第2760地区
ロータリー財団委員会





2011-12年度 国際ロータリーのテーマ



カルヤン・バネルジー

2011～12年度国際ロータリー会長
～インド・グジャラート～



こころの中を見つめよう 博愛を広げるために

こころの中を見つめよう 博愛を広げるために

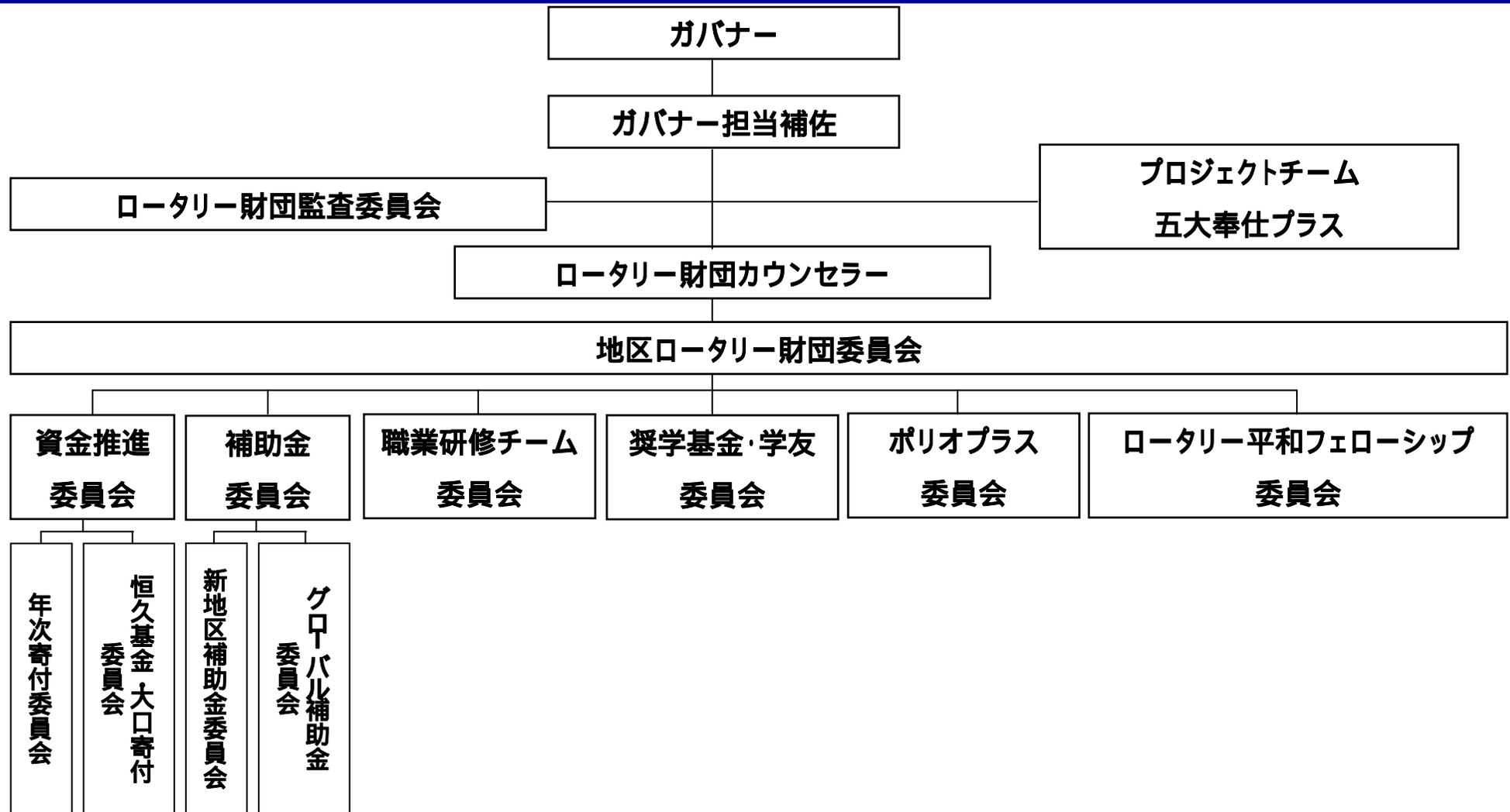
強調事項

家族・継続・変化

深く自己を省みることによって、人類が皆、同じ夢、同じ希望、同じ願望、同じ問題をわかち合っていることを、理解していただきたいのです。



2011~2012年度 ロータリー財団委員会組織図





未来の夢計画

財団の使命を新たにすると共に、ロータリアンが多岐に渡るプロジェクトを実施することで、多大な影響をもたらす**持続可能な成果を生む**ことが出来る。

「ロータリー財団の使命は、ロータリアンが、**健康状態を改善し、教育への支援を高め、貧困を救済**することを通じて、**世界理解、親善、平和**を達成できることです」



財団のプログラム

財団の使命に沿って、**プログラム**と**運営**を**簡素化**する事
ロータリアンにとって関連性のある**世界の主要なニーズ**
に取り組むことによって、**最大の成果**が期待できる奉仕
活動に**焦点を絞ること**

世界的目標と**地元の目標**の**両方を果たす**ための**プログ
ラム**を提供すること

意思決定権をさらに**地区に移行すること**によって、**地区
のレベル**と**クラブレベル**で**ロータリー財団**が**自分達のも
のである**という**自覚を高めること**



「未来の夢計画」の大きな特徴

1. 地区補助金の**分配率**と**使用内容**が変わった。
2. **グローバル補助金**プログラムの**新設**。
3. 地区で使用できる**補助金**が**大幅に増える**。
4. クラブの計画・申請・許可は、**全て前年度**に行う。
5. クラブの申請が**簡素化**する



地区財団活動資金

シェアシステムを通じて、ロータリー財団への寄付は、世界をよりよい場所にし、**人々の生活を変える為**の補助金へと形を変えます。また、財団の補助金とプログラムに関する法的手続きに世界中のロータリアンが関与することが可能になります。寄付金をどのように使用するかを決定する自由を寄付者に与えている財団は、ロータリー財団だけです。

地区内の全ロータリー・クラブから寄せられた年次プログラムの寄付は、毎ロータリー年度末に次の2つの基金に分けられます。

50%が**国際財団活動資金(WF)**へ

50%が**地区財団活動資金(DDF)**へ

新地区補助金	50%以内
グローバル補助金	50%以上

ロータリー財団未来の夢計画

年次寄付+恒久基金の利益 100% 641,127.46\$

活動の基盤

年次寄付・恒久基金
ポリオプラス・大口寄付

年次寄付の75%活用

地区の裁量

170,687.07\$

補助金
重点6分野

170,687.07\$

世界平和フェロースhipへの寄贈



新しい補助金構成

ロータリー財団補助金 (DDF)

新地区補助金

グローバル補助金

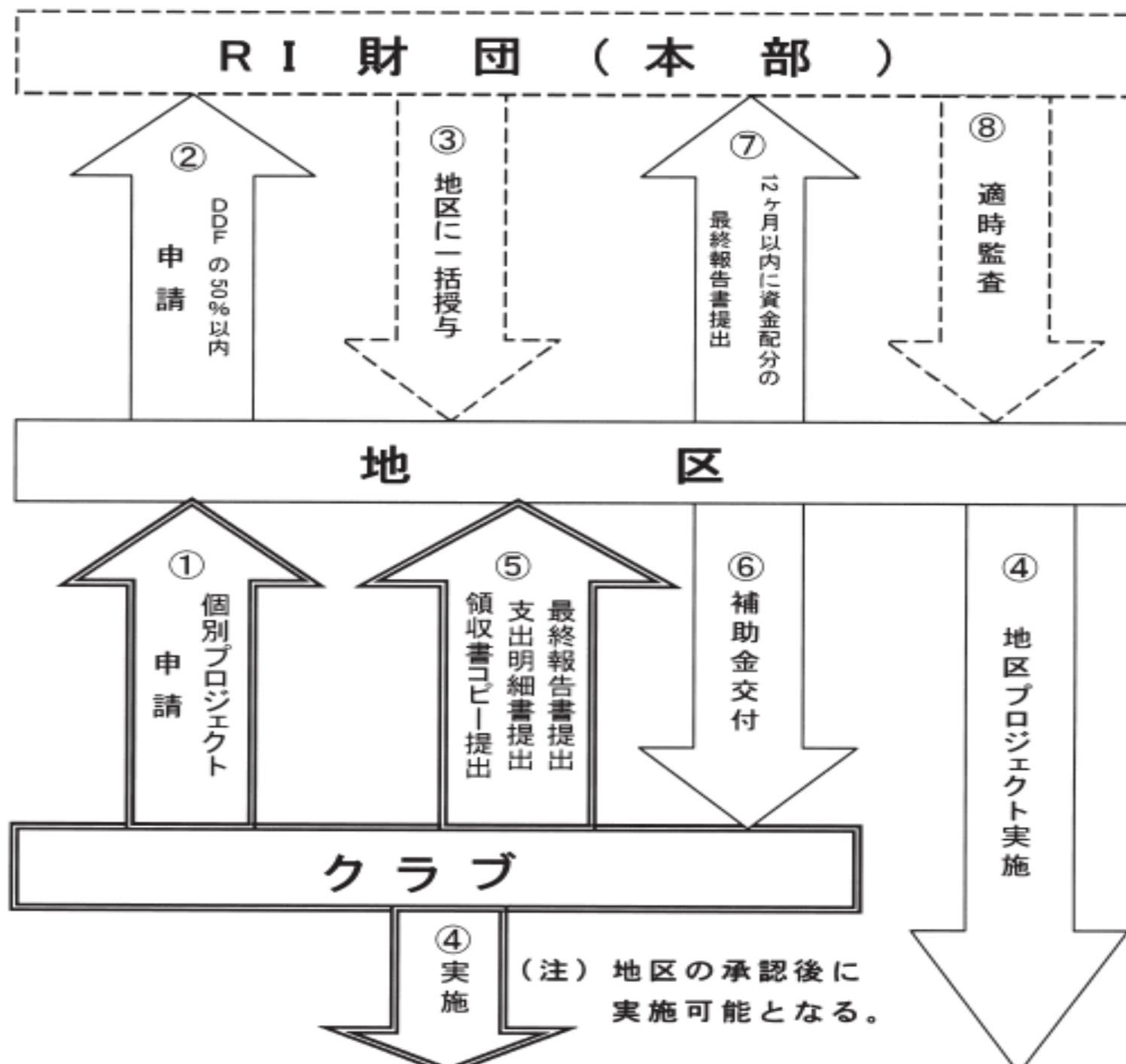
クラブ・地区が開発する
グローバル補助金

パッケージ・
グラント



新地区補助金の概要

- 国内の事業にも、国際レベルの事業にも参加できる。
- 海外の事業の場合、実施地にロータリー・クラブのあるなしを問わない。【米国経済制裁国を除く】
- プロジェクトの分野は問わない。地区 によって管理・運営される
- 海外で奉仕活動をする、またはプロジェクトの調査をするロータリアンの旅費を支給できる。
- たとえ海外のクラブとの事業であっても、地区が主たるスポンサー (Primary Sponsor) で、申請書を提出し、実施と報告の責務を負います。
- 次の新地区補助金が支払われるためには、現在の新地区補助金を closed にしなければなりません。
- 一括して受け取った補助金を、受け取った後、残金があり、ロータリー財団に返却した場合、DDF として戻る。





新地区補助金の申請

奉 仕 事 業

MEMO

- ・ 人道的、教育的プロジェクトのどちらにも使えます。
- ・ 1 プロジェクト当りの補助額に(RI財団本部からは)上限も下限もない。
- ・ 地元社会でも海外でも事業を実施できる。
- ・ ロータリーのある国では、建物、施設の改築事業も可。
- ・ 地元、国内での建物、施設の改築事業も可。

事業例

- ・ 地元地域社会での人道的奉仕事業
- ・ 文化・芸術分野に関する奨学金
(海外留学でも地元の大学に行く場合でも可。)
- ・ 経済的に困っている学生への学費の支援
- ・ 使途指定で現金贈与ができる。
- ・ 職業研修チームの派遣
(期間・人数共に自由)
- ・ 職業訓練の支援
- ・ 災害救援
- ・ 海外のクラブとの協力事業
- ・ 海外での奉仕事業
(ロータリーのある国でもない国でも可)



新地区補助金で資金を調達できること

- 人道的プロジェクト
- 地区が承認した海外旅行の費用と奉仕プロジェクト
- 職業研修、交換、チームの費用
- 奨学金
- 文化研修と語学研修
- 他国で教鞭を執る教育者への補助金
- 地元と海外でのプロジェクトと活動
- ロータリークラブのない国のプロジェクトとその市民を支援する活動
- インフラ(社会基盤)の建設は、次のものに限られます。
トイレ、上下水道、側溝、ダム、橋、貯蔵設備、フェンスやセキュリティシステム、
水、灌漑システム、温室
- 既存建物の改築、修理。
電気、水道、暖房などを建物内に取り入れること。屋根の修理。
病院、学校などの既存建物の増築。エレベーター、浴室の改装など。



グローバル補助金

重点六分野

- ・平和と紛争予防 / 紛争解決
- ・疾病予防と治療
- ・水と衛生設備
- ・母子の健康
- ・基本的教育と識字率向上
- ・経済と地域社会の発展

マイクロクレジット(小口融資)



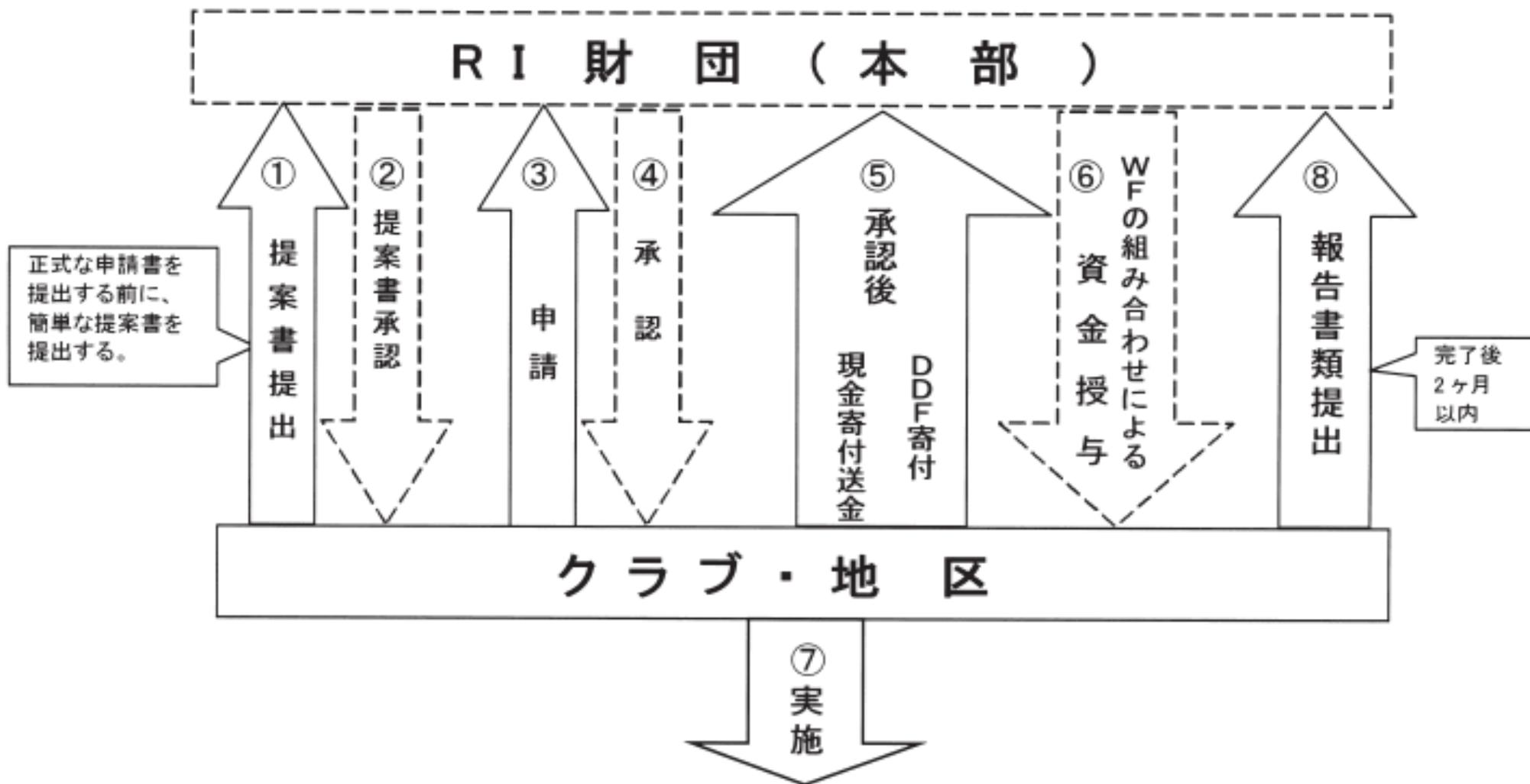


グローバル補助金

- Host Sponsor (プロジェクト実施地のクラブまたは地区) と、International Sponsor (海外の援助提供クラブまたは地区) の両者が必要です。
- 同時に 10 件まで申請できます。(地区の場合は、新地区補助金を含めて 10 件です。)
- 個別のプロジェクトの補助金を受け取った後、プロジェクトに残金があり、ロータリー財団に返却した場合、WF に組み入れられます。
- ロータリー財団がプロジェクトを 1 件 1 件審査し、補助金を授与します。
- プロジェクトに参加するロータリアンの旅費は支給されない。(ただし、職業研修チームのチームリーダーを除く。)
- グローバル補助金の支給は、ドル建てにて行う。



(グローバル補助金) クラブ & 地区計画補助金申請



奉 仕 事 業

MEMO	<ul style="list-style-type: none"> ・ 補助金の下限\$15,000～上限 200,000 ・ \$100,000 以上の補助金は管理委員会の承認が必要となる。 ・ 現金や DDF の提唱者寄付に WF がマッチングされる。 <div style="border-left: 1px solid black; border-right: 1px solid black; padding: 5px; margin: 5px 0;"> 現金に対しては 1/2、DDF に対しては同額がマッチングされる。 </div> ・ ロータリーのある国でのみ事業実施可。 ・ 改築・建築も可。 ・ プロジェクトの予算規模は、3 万ドル以上。 	事業例	<ul style="list-style-type: none"> ・ 6種類の重点分野に関する人道的プロジェクト。 <div style="border-left: 1px solid black; border-right: 1px solid black; padding: 5px; margin: 5px 0;"> 外国のクラブや地区と共同で実施する。協同提唱者は、実施国側、援助国側で、それぞれいくつあっても良い。 </div> ・ 6種類の重点分野を専攻する奨学金。 <div style="border-left: 1px solid black; border-right: 1px solid black; padding: 5px; margin: 5px 0;"> 1年から4年間。奨学金額3万ドル以上。承認基準は財団決定。 </div> ・ 6種類の重点分野に関する職業研修チームの派遣。 <div style="border-left: 1px solid black; border-right: 1px solid black; padding: 5px; margin: 5px 0;"> メンバー3名以上～上限なし。期間自由。事業額3万ドル以上。 </div>
------	---	-----	---

必須条件	グローバル補助金は次の6種類の重点分野に活用する (p22-23 参照)
<ul style="list-style-type: none"> ・ 平和と紛争予防／紛争解決 ・ 疾病予防と治療 ・ 水と衛生設備 	<ul style="list-style-type: none"> ・ 母子の健康 ・ 基礎的教育と識字率向上 ・ 経済と地域社会の発展



重点6分野

① 平和と紛争予防／紛争解決

ロータリー財団は、以下のような形で、平和と紛争予防／紛争解決を助長していきます。

- 地元での平和活動を強化する。
- 紛争予防と仲裁に関する研修を地元のリーダーに提供する。
- 紛争地域での長期的な平和構築を支援する。
- 紛争による被害を受けた弱い立場にある人々、特に子どもと青少年に援助を提供する。
- 平和と紛争解決に関連する研究を支援する。



重点6分野

② 疾病予防と治療

ロータリー財団は、以下のような形で、疾病の原因を減らし、その影響を緩和していきます。

- 地元での保健の専門家の能力を高める。
- HIV／エイズ、マラリア、その他の主要な疾病の蔓延を防止する。
- 地域社会の医療施設を改善する。
- 主要な疾病の蔓延を防止するために、地域社会の人々を動因し、教育する。
- 疾病の予防と治療に関連する研究を支援する。



重点6分野

③ 水と衛生設備

ロータリー財団は、以下のような形で、人々が水と衛生設備を持続的に利用できるようにしていきます。

- 安全な飲料水と基礎的な衛生設備を地域社会のより多くの人々が均等に使えるようにする。
- 持続的な水設備と衛生設備を開発し、管理していくための地域社会の能力を高める。
- 安全な水と衛生について地域社会の人々を教育する。
- 水と衛生に関連する研究を支援する。



重点6分野

④ 母子の健康

ロータリー財団は、以下のような形で、母子の生活を改善していきます。

- 5歳未満の子どもたちの死亡率を減らす。
- 妊婦の死亡率を減らす。
- より多くの母子が、適切な訓練を受けた医療スタッフによる基本的な医療サービスを受けられるようにする。
- 母子の健康に関連する研究を支援する。



重点6分野

⑤ 基本的教育と識字率向上

ロータリー財団は、以下のような形で、すべての人々のための教育と識字率向上を推進していきます。

- 子どもたちが、質の高い基本的教育を受けられるようにする。
- 教育における性別格差を縮める。
- 成人の識字率を高める。
- 基本的教育と識字率向上を支えていく地域社会の能力を高める。
- 基本的教育と識字率向上に関連する研究を支援する。



重点6分野

⑥ 経済と地域社会の発展

ロータリー財団は、以下のような形で、地域社会とその人々の生活における測定可能かつ持続的な経済発展を支援していきます。

- 貧しい地域における企業家や地域のリーダーの育成、特に女性の発展に力を入れる。
- 生産性の高い充実した仕事の機会を特に青少年のためにつくる。
- 経済発展を支えるため、地元の組織の能力を構築し、地域社会のネットワークを強化する。
- 経済と地域社会の発展に関連する研究を支援する。

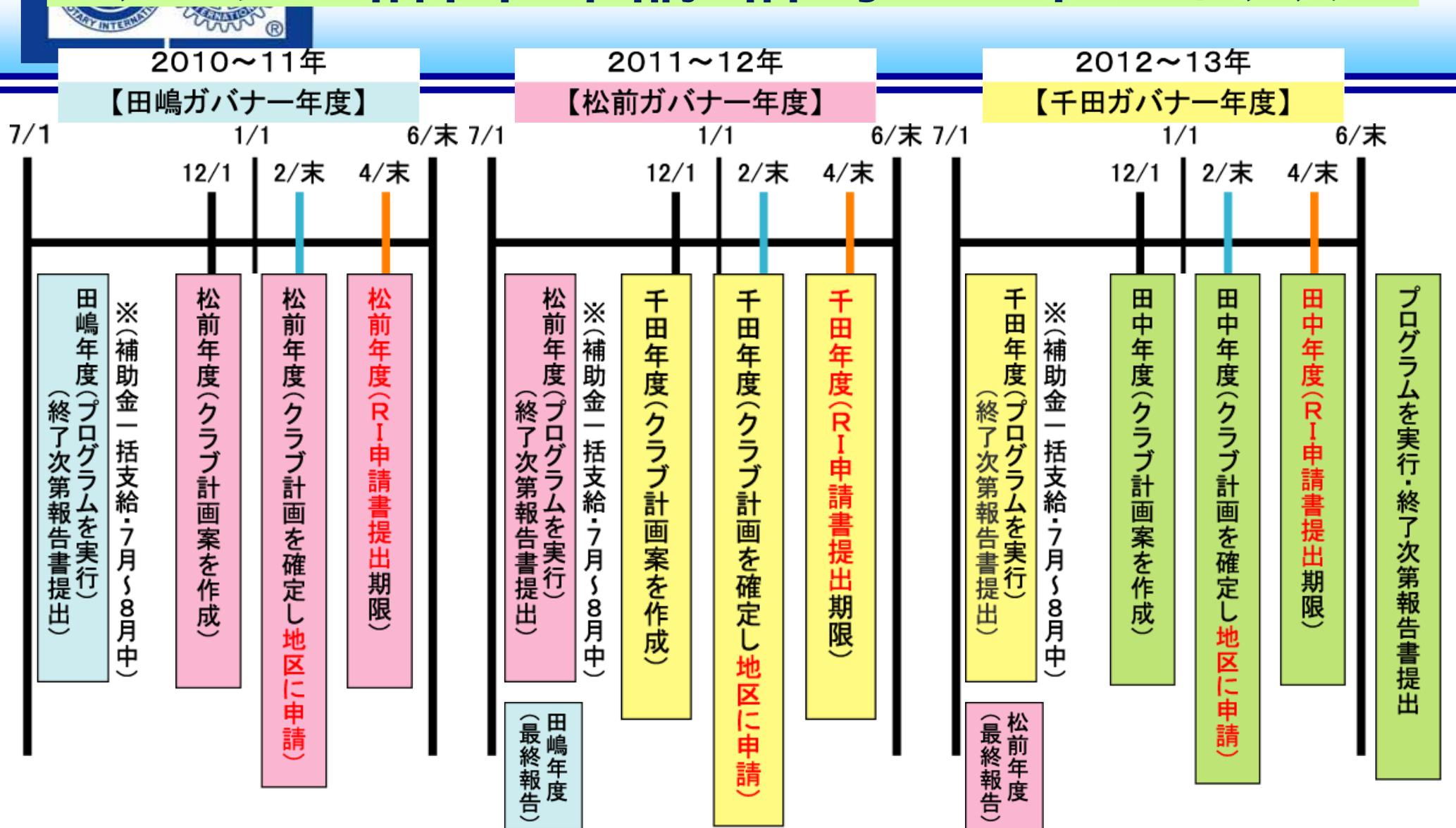


(グローバル補助金)
クラブ & 補助計画補助金の人道的プロジェクト

< 主としてクラブ >

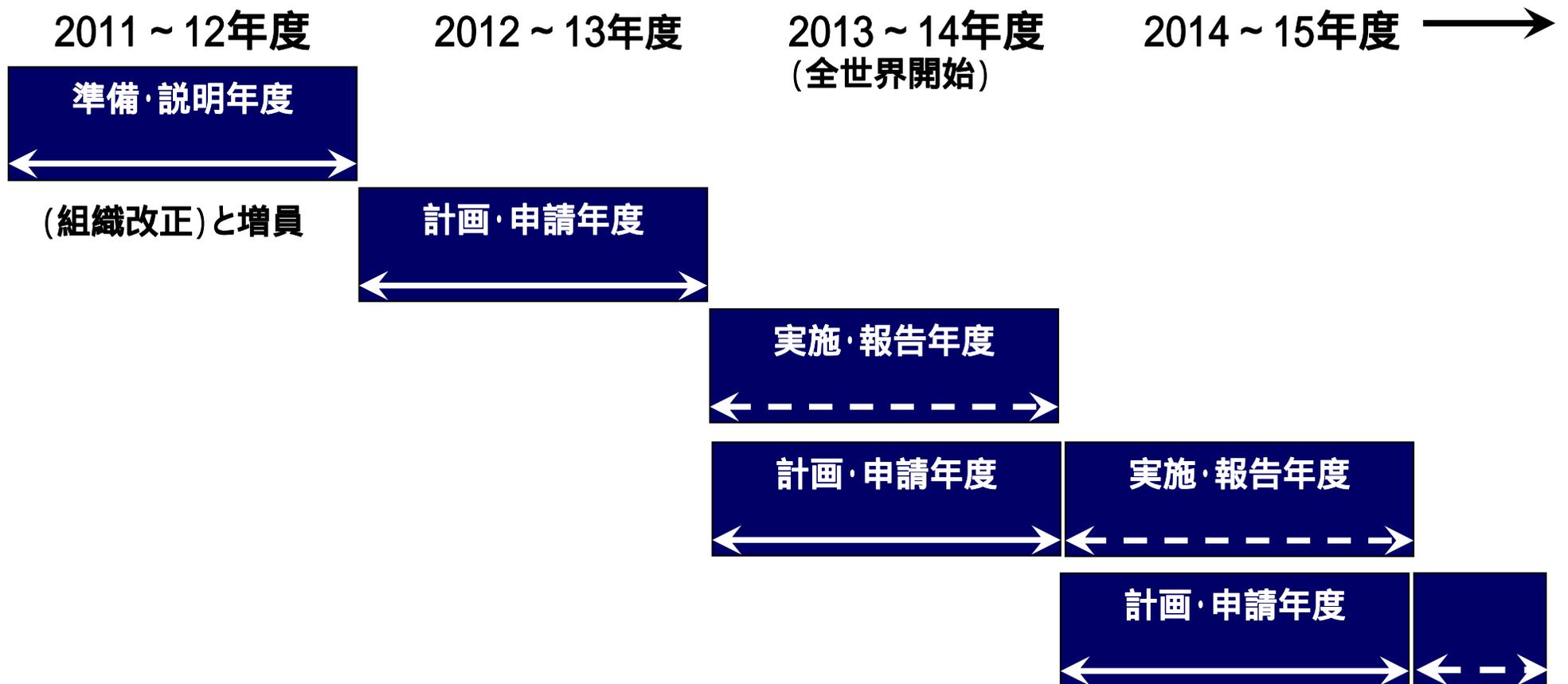
- 一つまたは二つ以上の人道的分野において、恵まれない人々の最低限のニーズに応えると同時に、全体の幸せを高めるようなプロジェクトでなければいけません。
- プロジェクトの実施地のロータリー・クラブまたは地区が手がけたプロジェクトの資金を調達するものでなければなりません。
他団体が手がけた事業に協賛するようなプロジェクトは適格ではありません。
- インフラ(社会基盤)の建設は、次のものに限られます。
トイレ、上下水道、側道、ダム、橋、貯蔵施設、フェンスやセキュリティシステム、水、灌漑システム、温室。 ㊦
- 既存建物の改築、修理。電気、水道、暖房などを建物内に取り入れること。
屋根の修理。病院、学校などの既存建物の増築。エレベーター、浴室の改装。など。 ㊦

クラブの計画・申請・許可の3年サイクル





補助金：計画・申請・実施・報告書 3年サイクルシステム





基本的な手順(案) 2011～12年度

- 6/- **ゾーン財団セミナー** → **財団委員**
- 6/- **地区財団セミナー** → **ガバナー・ガバナーエレクト
ガバナーノミニ・ガバナー補佐
82クラブ会長・次期会長
又は幹事・財団部長**
<未来の夢計画説明と地区方針>
- 7/- **次年度ガバナー補佐会議出席** → **財団委員長**
<未来の夢計画の広報と支援願い>
- 11/- **財団月間82クラブへ卓話依頼** → **地区財団委員長・副委員長
財団小委員長・分担**
<未来の夢計画の説明>



基本的な手順(案) 2011～12

11/-

地区大会

<未来の夢計画の広報 - パネル展示>

職業研修チーム
学友会・奨学生の紹介

2/-

財団管理セミナー

<未来の夢計画の実施手順>

ガバナー・ガバナーエレクト
ガバナーノミニ・次期ガバナー補佐
会長エレクト・次期幹事
次期財団委員長

4/-

地区協議会出席

<未来の夢計画と財団の役割について>

財団委員長

各月毎に財団全体委員会にて新プログラム・MOU(地区・クラブの覚書)研修を行う (MOU memorandum of understanding)

地区財団委員会の補助金専門口座開設準備

各クラブの補助金専用口座改札準備



基本的な手順(案) 2011～12

未来の夢計画により、地区・クラブの準備する要項

地区活動資金(DDF)専用口座を開設
各クラブに補助金専用口座を開設

クラブの覚書(MOU)の理解と新設

参加資格条件

- A) 地区とクラブが本同意書を交わす
- B) ロータリー財団章典の第7.030項に基づき、いかなる利害の対立の可能性も開示しなければならない
- C) クラブの補助金資金管理者1名を任命する
- D) クラブは地区開催の研修会に出席しなければならない



基本的な手順(案)

2011 ~ 12

クラブの覚書(MOU)の理解と新設

財務管理・書類・保管

- A) 専用の口座の引出しは、2名のロータリアンの署名を必要とする
- B) すべての領収書、支払い記録、会計基準に準ずる処理
- C) 収入と支出の明細書、銀行残高、事業内容(写真等)
- D) 5年間すべての書類の原本は保管する
- E) 要請や監査に応じて、ロータリー財団または地区に提出する

承認と同意

- A) クラブ会長とクラブ会長エレクトの同意書を地区へ通知する



END POLIO NOW (今こそポリオ撲滅のとき)

チャレンジ達成をめざして

ロータリーの2億ドルのチャレンジに
寄せられた寄付の合計*

1億7,800万米ドル

*2011年6月20日現在



ビル&メリンダ・ゲイツ財団



END POLIO NOW (今こそポリオ撲滅のとき)



2月、第2630地区(岐阜・三重)ロータリー財団学友会会員がコンサートを開催し、2億ドルのチャレンジのために12,000米ドルを、ニュージーランド大地震の復興のために2,400米ドルを集めました。

ロータリー財団ニュースレター掲載

ポリオに関する統計

国・地域	2011年の発症件数
アフガニスタン	4
インド	1
ナイジェリア	12
パキスタン	49
常在国以外	139
全世界合計	205

(6月20日の時点における数字 / 世界保健機関)



平和フェローシップ

- ・世界及び紛争解決の分野における国際問題研究の為にロータリーセンターは2002年設立



- ・平和、親善、紛争、の原因と世界理解の問題に関する研究、指導出版および知識の増進を図ることを目的に設立





平和フェローシップ

7大学・6ロータリー平和センター

日本・国際基督教大学

オーストラリア・クイーンランド大学

アルゼンチン、サルバドル大学

アメリカ・デューク大学およびノースカロライナ大学チャペルヒル校

イギリス・ブラッドフォード大学

タイ・チャラロンコーン大学





平和フェロークシッブ第9期生 水野真希さん



学歴

1996年3月 広島大学教育学部英語学科
科目等履修生 修了

同年3月 広島大学大学院国際協力研究会
教育文化コース 修了

在外居住経験

2003年4月より2008年8月までジャマイカ居住、
2008年8月よりブータン王国在住

職歴

2002年12月 青年海外協力隊隊員(ジャマイカ)

2006年8月 国際連合教育科学機関
(UNESCO)カリブ地域事務所

2007年8月 在ジャマイカ日本大使館

2010年8月 国連開発計画(UNDP)
ブータン事務所



グローバル補助金(例)



水と衛生設備



基本的教育と識字率向上



経済と地域社会の発展
マイクロクレジット

新補助金(例)



地域医療の援助



地域の教育設備や備品の寄贈



被災地への支援



ポリオ投与活動 風景



ポリオ投与活動 風景



ポリオ投与活動 風景



ご静聴ありがとうございました

第2760地区ロータリー財団委員会

